

大阪府立泉南支援学校 令和3年度 第1回 学校運営協議会 記録

1 日 時 令和3年6月15日(火) 10:00～11:00

2 場 所 大阪府立泉南支援学校 会議室

3 次 第

(1) 開会 校長あいさつ

(2) 委嘱状手交

(3) 学校運営協議会委員紹介

(4) 事務局職員自己紹介

(5) 会長・副会長について

(6) 報告

・令和2年度・3年度 学校経営計画及び学校評価について

・令和4年度教科書検定について →委員会にて選定中。第2回の協議会にて報告

・令和3年度高等部3年生進路先希望状況について

全生徒の希望先：企業就職(A型含む) 35% 障がい福祉サービス50% その他15%

・各学部より

【小】校区の再編が学年進行で進んでおり低学年の児童数が増加している。今年度児童数80人。内1.2年が36人。R2年度より低・中・高学年の時間割で授業を進めている。

【中】校区の再編に伴い、小学部同様生徒数の増加している。小・中学部のクラス増に伴い特別教室をホームルーム教室への転用を行っており、抜本的な解決を求めている。小学部の学びをベースに、高等部へまたその先の進路に向けて、多くの教科学習に取り組んでいる。

【高】小・中学部とは逆に生徒数は減少傾向。中学卒業時に様々な進路選択ができる時代を反映。3年後のより良い進路を見据え、学習に取り組んでいる。

【進路職業部】毎年「進路のてびき」の冊子を作製。事業所数が年々増加 R3→70か所(H26→30数か所) 冊子には高3の進路の流れ等も記載している。

○意見交換

*コロナ禍で職がない状態。R3年度卒業生の就労先での様子は？

→飲食と製造業に1人ずつ就職。今のところ新型コロナによる影響はなし。シフト制で頑張っている。

*一企業として参加。弊社を生徒に知ってもらい、何か担えるところがあれば。と考えている。

*保護者としては、事業所増で選択肢が多すぎて、逆に決められない場合もある。また、保護者間で情報量の差が大きい。情報をお持ちでない方々は如何に進路を決定しているのか？

→進路懇談会で本人のニーズを聞き取り、「進路のてびき」より、数か所を選び、実際に出向いていただき、決定していている。

*支援学校を知ることができた。進路決定における適正の見極め方は？

→「園芸」「縫製」「木工」「窯業」「外注作業」などの授業に取り組む中で見極めている。

*支援学校の専門性の継承が大切。一般中学の支援級在籍の生徒の80%近くは選抜のある高校へ。その内50~60%は私学の高校へ(大阪府の無償化の影響?) 大阪南部の高校の生徒減。高等学校の動向が支援学校高等部に影響している。中途退学者も多いのが現状。何年かのち、高等部の人数に影響を及ぼすかもしれない。